

#### ④フクオカベンチャーマーケット(FVM)を活用した国内販路開拓及びアジア展開支援モデル事業

##### ・財団法人福岡県産業・科学技術振興財団(現・公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団)

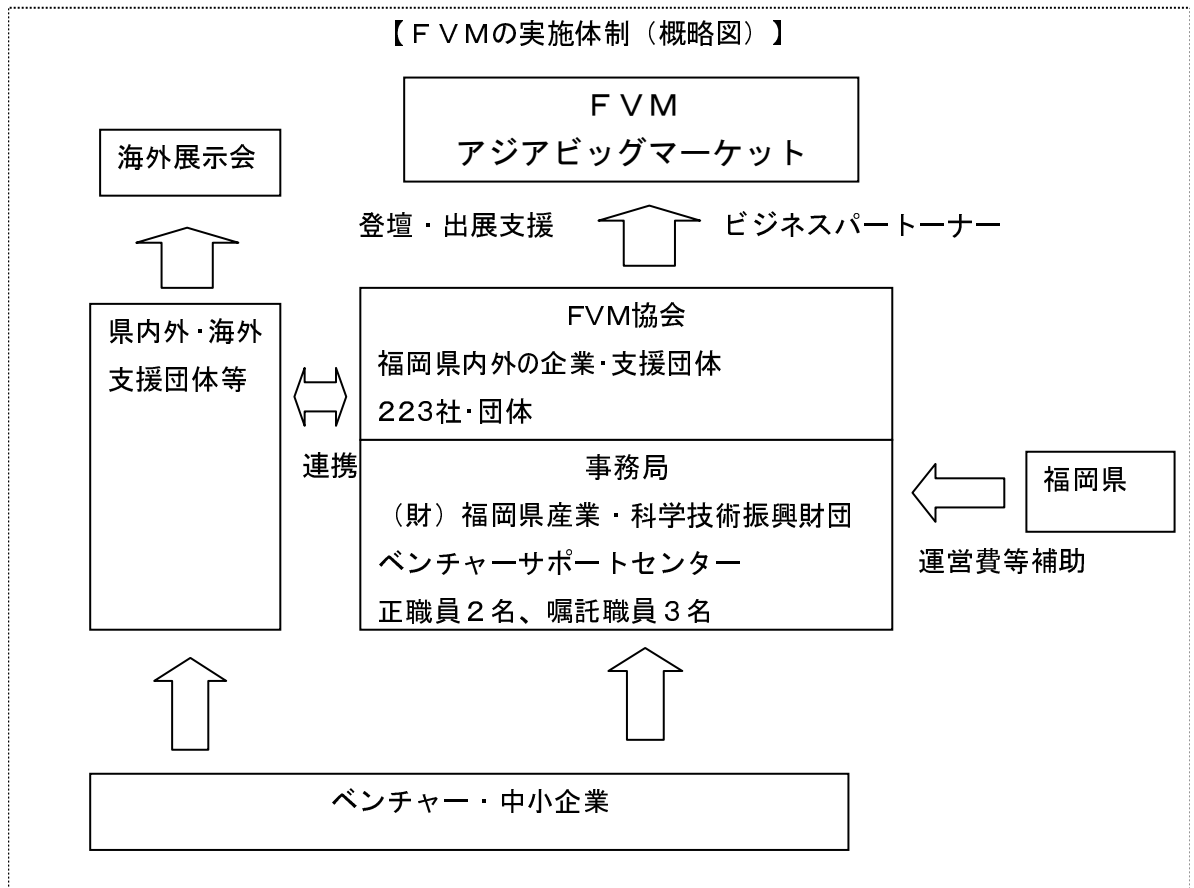
(財)福岡県産業・科学技術振興財団では、平成11年からフクオカベンチャーマーケット(FVM)事業を行い、中小ベンチャー企業の支援を行ってきました。本事業では、そこで得られたノウハウやプラットフォームを活用し、県内外企業の販路開拓支援を行いました。国外においては、FVM協会とベンチャー企業の相互支援のMOUを締結している、(財)釜山テクノパーク(BTP)との連携関係を活用して釜山新技術発明展覧会に出展する4社(県内企業2社、県外企業2社)のサポートを行いました。同時に、昨年から実施され、福岡市で開催されているアジアビッグマーケット(ABM)では、国内外の団体側からの申し出があり、今回、連携しながら、専門家派遣などの支援を行いました。

今回の事業を通し、FVMに海外販路開拓支援に関するノウハウが蓄積されると共に、FVMのプラットフォームとしての役割が強化されました。特に、ABMでは多くの機関との連携ネットワークを強化し、今後は、国内外のベンチャー企業のマッチング拠点的なイベントとなることを目指します。

## 福岡ベンチャーマーケット（FVM）の実施体制（概略図）

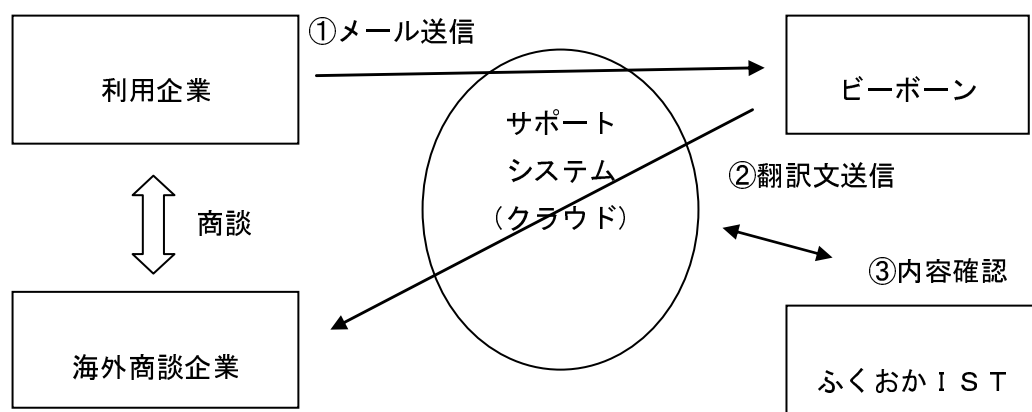
### 4. FVM（フクオカベンチャーマーケット）を

活用した国内販路開拓及びアジア展開支援モデル事業



## 本支援事業における通訳システムの概要

### 【通訳システムの概要】



※海外商談企業も利用可

- ①利用企業が事前登録された商談先企業のアドレスにメール送信。
- ②ビーボーン側で翻訳、送信。
- ③事務局側で送信内容等状況確認。

### メール翻訳システムイメージ画面

## FVM活用による販路開拓・アジア展開支援のフローチャート

### 4. FVM (フクオカベンチャーマーケット) を活用した国内販路開拓及びアジア展開支援モデル事業

項目名	FVMを活用した国内販路開拓及びアジア展開支援モデル事業	
目的・概要	<p>中小・ベンチャー企業のビジネスを活性化するためには、国内市場のみならず、成長著しいアジアの活力を取り入れることが必要となる。</p> <p>このため、長年のベンチャー企業支援実績を持ち、さらにアジア展開支援を行うイベントであるFVMを活用し、国内での販路開拓及びアジア展開支援を行うもの。</p>	
業務手順	<p>フロー</p> <pre> graph TD     A[ベンチャー・中小企業] --&gt; B[企業情報の収集]     B -- 開拓 --&gt; C[IST]     B -- 連携 --&gt; D[支援機関]     D -- 推薦 --&gt; C     C --&gt; E[ニーズの事前把握]     E -- 登壇・商談支援 --&gt; F[FVM]     F --&gt; G[海外展開支援企業の選定]     G -- 連携支援 --&gt; H[海外展示会出展]     I[海外支援団体] --&gt; H     </pre>	<p>業務要領・留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社ビジネスを成長させたい企業の情報収集が必要。 マスコミ掲載、他支援機関での支援企業の情報は常に把握。</li> <li>・他支援機関とのネットワーク構築は必須(ウィンウィンの関係)。</li> <li>・事業計画書の作成、プレゼンテーションについては、マッチング成功のための視点で支援。 特にプレゼンの意味(商品説明会やスピーチではない)を理解してもらう。</li> <li>・企業側のニーズを把握した上で、支援を行う。</li> <li>・FVMでは、マッチングパートナー側の意見収集も行う。</li> <li>・海外展開をしたい企業ではなく、できる企業を選定する。 製品やビジネスモデルではなく、社長の意気込みややるとげる意欲があるかが重要。 書類選考ではなく、プレゼンで評価する。 必要があれば、海外展開を止めさせることも支援。</li> <li>・海外支援機関とのネットワーク構築が重要。信頼関係を築くこと。相互支援となることが必要。</li> <li>・事務局サイドは、これら機関がどんな支援ができるのか、また、どう活用するかをコーディネートすることが重要。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンチャーサポートセンター (FVM) <a href="http://www.ist.or.jp/ven/index.php">http://www.ist.or.jp/ven/index.php</a></li> <li>・アジアビッグマーケット <a href="http://www.fvm-asia.jp/">http://www.fvm-asia.jp/</a></li> </ul>	

## FVM活用による販路開拓・アジア展開支援のフローチャート

### 4. FVM（活用した国内販路開拓及びアジア展開支援モデル事業（フクオカベンチャーマーケット）を

その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・九州アジアビジネス連携協議会（コーディネーター所属団体） <a href="http://www.k-kac.asia/">http://www.k-kac.asia/</a></li><li>・（株）ビーボーン（翻訳システムの利用問い合わせ先） <a href="http://beborn.jp/">http://beborn.jp/</a></li><li>・（財）釜山テクノパーク <a href="http://www.btp.or.kr">http://www.btp.or.kr</a></li><li>・釜山新技術・発明博覧会 <a href="http://www.ntfail.co.kr">http://www.ntfail.co.kr</a></li></ul>
連絡先	<p>（団体名） （財）福岡県産業・科学技術振興財団 （部署名） ベンチャーサポートセンター （窓口担当者役職・氏名） 主幹 野田幸治 （電話番号） 092（725）2729 （Eメールアドレス） ven@ist.or.jp</p>